



学習発表会を終えて

10月15日（日）、4年ぶりに入場制限をしないで学習発表会を行うことができました。

子供たちは『思いを込めて表現しよう ～可能性は無限大～』のテーマの下、一生懸命、自分の力を出し切っていました。また、前号の校長だよりでも書きましたが、当日の姿（結果）は、もちろん大事ですが、それ以上に過程が大事だと思います。学習発表会までに至る頑張りの中で、子供たちは大きく成長したものと思います。

○ステージ発表を頑張った2・4・6年生

《2年生》音楽劇「あきのチャンピオン」

2年生にとっては初めてのステージ発表でした。練習を重ねるごとに、音楽もそろってきたし、話す言葉もゆっくり大きく、とても聞きやすくなりました。当日は、音楽を演奏している子供たちも可愛らしかったのですが、それに合わせて、リズムをとったり演奏の真似をしたりするステージ横で見ている子供たちも可愛らしかったです。2年教室へ向かう途中の廊下にある『2年生 学しゅうはっぴょう会までのみちのり』の掲示も前号の校長だよりで紹介した時より2倍ほどになり、子供たちの様子がよく分かります。学習発表会当日は立入禁止区域にかかっているため見ることができなかったかもしれません。11月の学習参観日まで残しておきますので、2年生の保護者の皆さん、ぜひ見ていってください。



《4年生》運動「114の挑戦」

4年生は体育の時間に練習した運動の発表でした。2年生同様、練習を重ねるごとに、一つ一つの技がうまく決まるようになってきました。また、手足の先までピンと伸ばし、見ていて美しさが感じられるようになってきました。友達の演技を見て拍手を送っている姿からは自分も一緒に演じているんだという思いが伝わってきました。さて、当日は見てもらえていないのですが、金曜日の最終練習が終わったときに、跳び箱・マット・一輪車・縄跳びのグループごとに子供たちと教員が肩を組み円になって「〇〇〇〇、頑張るぞ!」「オー!」と学習発表会の成功に向けて声を挙げ、気持ちを高める場面がありました。「練習頑張った。当日もやるぞ!」という気持ちが伝わってきて、私は大変感動しました。「これ、当日も演技の前にやればいいのに」と思いました。見てほしかったです。

《6年生》劇「未来を生きる わたしたち」

6年生にとっては最後の学習発表会でした。どの子も、登場人物の気持ちを考えて、声・表情・体の動きで表現できていたと思います。劇は、科学技術が進歩した近未来、AIに頼って墮落したり、自分本位になって他と争ったりしている人類を見かねたAIが人類に制裁を加えようとしています。そこで、反省した人類が自分の生活を見直していこうという内容でした。ドキッとさせるせりふがいくつもありません。「ぼくたちは、この先何が起きるか分からない時代を生きるからこそ、本当にこれでよかったのか、



これでいいのか、よく考え、よりよい方向に向かって見直していく仲間でありたい」
「自分の本音を伝えるのは勇気がいることもあるけれど、分かり合うまでの過程、何かに本気で取り組む過程は苦しいこともあるけれど、大切な仲間と深くつながり合うために、自分自身の未来をつくるために、今日を、これからの未来を精一杯生きていきます」子供たちがこのせりふをどう捉えているのか、単にせりふとしてではなく、自分たちの生活に当てはめ、自分たちの生活をよりよいものに見直してくれるとうれしいなと思います。また、最後の『今日を生きる』の合唱は感動しました。もともと歌の上手な学年だと思っていましたが、卒業式なら泣いていたかもしれません。

○作品展発表を頑張った1・3・5年生

作品展も見応えがありました。1年生の工作「びっくりトーマポール」は、笑顔のものや強そうなもの・・・、一つ一つ表情が違います。作者を見て「なるほど！」と思う作品もありました。3年生の工作「光サンドイッチ」は幻想的でした。5年生の図画「実りの秋」は、本当に上手でした。芸術の秋・食欲の秋を思わせるような作品ばかりでした。本校では、鑑賞の時間もしっかりとるようにしています。これだけすばらしい作品が並んでいるのですから、構図・色使い等、ぜひ参考にしてほしいと思います。



先週の校内向け学習発表会の校長挨拶では、「一つ上の学年がどんな動きをしているか見てほしい。特に、5年生は6年生が何をしているか、出し物の劇はもちろん、どんなふうに係の仕事をしているかよく見てほしい」という旨、話しました。

○その他

いつものように校舎内を巡回していて、4年生のフロアを通りました。その時は、学習発表会の学年練習で誰もいませんでした。一つの教室に入って、ふと思ったことは、「児童机が整然と並んでいて、椅子がちゃんと入っているな」ということです。次の教室に入っても、その次の教室に入っても、概ねそうなっていました。見ていて気持ちのよいものです。次の日の4年生の学年練習の時に、そのことを子供たちに伝えました。

そう思って他の学年を見てみると、他の学年も概ねそうなっていることに気付きました。こんなことに初めて気付いたのは校長として恥ずかしいのですが、大変うれしいことです。以前、放送が鳴ったら立ち止まって聞く習慣が福野小学校の子供たちに身に付いているとお伝えしましたが、空き教室の机の整頓も福野小学校の習慣として位置付けていけばうれしいなと思います。

最後になりましたが、運営にご協力いただきました父母と教師の会の皆様、いつもクラブの指導をしてくださっている地域の皆様、ありがとうございました。

○クマ出没の注意喚起 今年度になって福野地域ではまだないものの、県内や市内では毎日のようにクマ出没の目撃や痕跡の情報があります。平野部でも川沿いにクマが出没しているようです。朝夕の不要不急の外出を控えるなど、ご家庭でも注意してください。学校でも、校外学習に出かけるときはクマ鈴を持たせるなどの対策をしたいと思います。また、この際、市や警察からの緊急メールを受信できるようにしていただければ、学校からの連絡を待たずに即時情報を受け取ることができます。詳しくは、校長だより令和4年度の第7号（7月4日付）を見てください。



(校長 曲 師 政 隆)